

プレス公表（運転保守状況）

2020年10月22日

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	2018年 11月1日 11月16日 11月21日 11月30日 12月13日 2019年 1月28日 8月8日	—	荒浜側立坑付近のケーブル洞道内の 火災について（区分Ⅰ）	<p>【発生状況】 2018年11月1日午前6時28分頃、荒浜側立坑内において、発煙が確認されたため、午前6時31分に119番通報を実施しました。 なお、現場（荒浜側立坑入口から南側に約70m地点）では炎は確認されておらず、消火活動等は行っておりません。公設消防による現場確認の結果、午前8時45分に「鎮火」確認、午前9時に「火災」と判断されました。本火災によるプラントへの影響はありません。</p> <p>【対応状況】 3つの問題点（火災発生、自治体および報道機関への情報連絡遅れ、柏崎市消防との情報共有に関わる課題）に関して調査を行い、それぞれの問題点について原因と対策を取りまとめました。 当所は、これらの再発防止対策を徹底するとともに継続的な改善に取り組み、火災の未然防止と情報共有を含めた火災時の対応能力向上に努めてまいります。 （2019年1月28日までにお知らせ済み）</p> <p>【その後の対応状況】 <u>火災の原因となったケーブル外装（シース）のシュリンクバック現象*への対策として、直線接続部両端のシースをブラケット（固定治具）で固定する対策を進めてまいりました。</u> <u>充電中の直線接続部へのブラケット固定は、2019年内に完了しております。</u> <u>非充電の直線接続部へのブラケット固定は、2020年度内に完了する計画でしたが、対策を進める中で、一部ケーブル内部の遮へい銅テープに亀裂が確認されたことから、工事工程を見直し、2021年内に対策を完了させるよう計画的に工事を進めてまいります。</u></p> <p>* シュリンクバック現象 ケーブルには絶縁体や遮へい銅テープを保護するための外装（シース）があり、ケーブル製造時に、シースを高温軟化させ、被覆している。そのシースが、ケーブルへの負荷電流による発熱や、昼夜・季節の変化による温度差によって収縮する現象。</p>